文化学部
「文学・芸術文化概説B」特別講義

講師　平田俊子氏（詩人）

「詩の恐さと弱さと朗らかさ」

12月26日（火）15：00～16：30

5号館　5407教室

入場料無料・申込不要

一般来聴歓迎（先着）

平田俊子プロフィール

1955年生れ。詩人。島根、鳥取、山口、福岡を転々としたあと1974年から京都市に住み、立命館大学文学部に通う。高校の頃に出会った現代詩を、大学で本格的に書き始める。思潮社が募集した第一回現代詩新人賞に応募し、「鼻茸について」などの詩篇で受賞。

1984年、受賞作を含む第一詩集『ラッキョウの恩返し』を出版。以後、『(お)もろい夫婦』『夜ごとふとる女』『ターミナル』(晩翠賞)『詩七日』(萩原朔太郎賞)『宝物』『戯れ言の自由』(紫式部賞)などの詩集を出版。詩の入門書に『詩、ってなに?』、戯曲集に『開運ラジオ』、小説に『ピアノ・サンド』『二人乗り』(野間文芸新人賞)『私の赤くて柔らかな部分』『スロープ』、エッセイ集に『きのうの雫』『スバらしきバス』『低反発枕草子』などがある。2010年より5年間、青山学院女子短期大学非常勤講師。2012年より5年間、立教大学文学部客員教授。読売新聞「こどもの詩」選者。東京在住。